

農福連携の効果と 障害者と農作業の マッチングのポイント

二元中継 [参集形式 / オンライン形式]

令和4年度
農福連携の効果実証プロジェクト
成果発表会

開催日程

日時：令和4年7月15日（金）

13：30～16：00

場所：金沢新神田合同庁舎8階 大会議室
（金沢市新神田4丁目3番10号）

※金沢新神田合同庁舎の駐車場には限りがありますので、
お車でご来場予定の方は事前にご連絡ください。
（参加申込フォーム内に、☑チェック願います）



第1部

基調講演

「農福連携の推進とユニバーサル農園」

講師：中本 英里 氏

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
西日本農業研究センター

実証調査

「実証調査の概要について」

発表者：高原 悠 氏

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
公共経営・地域政策部

「実証調査を踏まえた考察について」

発表者：田邊 望 氏

金沢医科大学リハビリテーション医学科 助教 / 医師

第2部

パネルディスカッション

「農福連携の効果とマッチングの成功に向けて」

コーディネーター：石橋 正之

北陸農政局地方参事官
（特命・事業計画）

パネリスト：中本 英里 氏

田邊 望 氏

鈴木 厚志 氏

京丸園株式会社 代表取締役

笠間 令子 氏

株式会社笠間農園 取締役

齋藤 峰雄 氏

有限会社あわら農楽ファーム 執行役員

パネリストのご紹介

Our Awesome Speakers



中本 英里 氏

国立研究開発法人 農業・食品産業技術
総合研究機構 西日本農業研究センター
農業経済、農業経営を専門とし、農福連
携の普及推進として、各種セミナーや「農福
連携支援研修(岡山県版)」等の講師を務
めるとともに、農福連携の効果解明に関する
調査研究を実施。

H25年 ヤンマー学生懸賞論文大賞受賞
H30年 地域農林経済学会個別報告優秀賞



田邊 望 氏

金沢医科大学リハビリテーション医学科 助教
農業を用いた地域における生活期リハビリ
テーションの新たな仕組みづくりとして、障がい当
事者と共に一般社団法人を設立。R3年に
金沢市で農家民宿「ととのや」を開業。大学
病院での臨床活動に加え、地域での研究開
発を続け、リハビリテーションを中心とした医療
と、農、食分野を掛け合わせた「里リハ」の実
現を試みている。

R2年 第2回日本在宅医療連合学会
優秀演題受賞
(共同研究:㈱笠間農園)



鈴木 厚志 氏

京丸園株式会社(浜松市) 代表取締役
13代続く農園主。

農業/福祉/企業の連携モデル(ユニバー
サル農業)を実現し、老若男女94名が働く。
このうち障がい者雇用は22名。その他に施設
外就労等を受け入れ毎日37名の障がい者
が農園で活躍中。農業と福祉の融合によって
農業経営が強く、地域福祉が活性化される
ビジネスモデルを目指す。

R元年 農林水産祭 経営多角部門
天皇杯受賞

R4年 ノウフク・アワード2021
グランプリ受賞。



笠間 令子 氏

株式会社笠間農園(内灘町) 取締役
作業療法士

農福連携促進アドバイザー(石川県)
農福連携技術支援者(農林水産省)

農業のリハビリ効果に着目し、障がい者や高
齢者も若者と一緒に活躍できる農園づくりに
取り組み、年間6事業所を施設外就労として
受け入れている。また、石川県内の農福連携
マッチングに同席し、農業と福祉の架け橋役を
担う。

H23年 中日農業賞「優秀賞」

R2年 ディスカバー農山漁村の宝2020
全国選定



齋藤 峰雄 氏


有限会社あわら農楽ファーム(あわら市)
執行役員

経営のほか、障がい者の農業技術指導等
を担当。農福連携による圃場の管理・拡大を
図り、就労支援継続A型事業所「農楽里」か
ら施設外就労として障がい者12名を受入。

乾燥調製施設、農産物集出荷調整施設
の新設、スマート農業を導入し受託作業
及び、障がい者の作業領域の拡大予定。

R3年 いちほまれコンテスト

(ふくいブランド米推進協議会主催)
特別栽培米②~④部門 最高賞

参加申込はこちら(参加申込フォーム) 

https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokuriku/form/040715_noufuku.html



募集定員

会場参加 40名程度

オンライン参加 300回線まで

〈お問合せ先〉

北陸農政局農村振興部農村計画課

金沢市広坂2丁目2-60 金沢広坂合同庁舎

電話: 076-232-4531